

精神保健福祉援助演習Ⅱ

担当教員 茶屋道 拓哉、平川 泰士、福崎 千鶴

配当年次 4年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

①精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について理解を深める。②精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について体系的な概念や理論をもとに、専門的援助技術として実践的に展開できる能力を身につける。③総合的包括的な相談援助・保健医療福祉のチームアプローチなどを具体的事例をもとに理解する。④ロールプレイを通じた個別・集団での指導をもとに、具体的場面を想定した専門職としての対応力を身につける。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	実習体験の振り返り（集団）①精神保健福祉士の活動内容と理論との結びつけ
2	実習体験の振り返り（集団）②精神保健福祉相談援助事例と理論との結びつけ
3	実習体験の振り返り（集団）③クライアントとの関係における困難場面の共有化と体系的理解
4	実習体験の振り返り（集団）④クライアントとの関係における困難場面の再構成とロールプレイ
5	実習体験の振り返り（集団）⑤各専門職との関係における困難場面の共有化と体系的理解
6	実習体験の振り返り（集団）⑥各専門職との関係における困難場面の再構成とロールプレイ
7	実習体験の振り返り（個別）①精神保健福祉士の活動内容と理論との結びつけ
8	実習体験の振り返り（個別）②精神保健福祉相談援助事例と理論との結びつけ
9	実習体験の振り返り（個別）③クライアントとの関係における困難場面の共有化と体系的理解
10	実習体験の振り返り（個別）④クライアントとの関係における困難場面の再構成とロールプレイ
11	実習体験の振り返り（個別）⑤各専門職との関係における困難場面の共有化と体系的理解
12	実習体験の振り返り（個別）⑥各専門職との関係における困難場面の再構成とロールプレイ
13	課題の発見・分析・解決（個別）
14	自己の援助関係構築方法に対する理解と自己覚知①
15	自己の援助関係構築方法に対する理解と自己覚知②

【履修上の注意事項】

- 1 精神保健福祉援助実習終了後に実施する本科目においては、実習において得られた臨床における実践知識・技術を振り返りながら進める。よって、ロールプレイ・演習中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める。
- 2 必要に応じて用いられるケースや学生同士の自己開示における専門職業人としての守秘義務の徹底。
- 3 ロールプレイや事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせながら振り返りを行うこと。

【評価方法】

事例研究（個別指導）における評価：30%
 事例研究（集団指導）における評価：30%
 授業中のレスポンスやチームとして取り組む姿勢：40%

【テキスト】

福祉臨床シリーズ編集委員会編『精神保健福祉士シリーズ10 精神保健福祉援助演習（専門）』弘文堂

【参考文献】

日本社会福祉実践理論学会監修『事例研究・教育法—理論と実践の向上を目指して—』川島書店